

2019年12月吉日

各位

日本建築学会近畿支部材料・施工部会
近畿生コンクリート圧送協同組合

第16回圧送技術研究会開催のご案内

— 高流動性コンクリートの圧送性評価 —

拝啓 初冬の折、貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から、コンクリート圧送に対するご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、恒例となりましたコンクリート圧送・ポンプ工法に関する研究会も第16回を開催することになりましたので、ご案内申し上げます。

日本建築学会近畿支部材料・施工部会 ポンプ工法 WG では、近畿生コンクリート圧送協同組合と共同でこれまでに13回のフィールド実験を行ってまいりました。実験では、土木・建築工事で一般的に扱われているコンクリートの他、高強度・高流動コンクリートやフライアッシュ、銅スラグ細骨材などを用いたコンクリートについても圧送性や管内圧力損失(K 値)、さらにはさまざまな問題点を把握・解決し、成果を圧送技術研究会、ならびに日本建築学会大会で公表してまいりました。

2019年3月に JIS A 5308 が改定され、呼び強度 27~45 のコンクリートにおいて、スランプフローで管理するコンクリート（以下、「高流動性コンクリート」という。）が JIS 適合品として扱えるようになりました。高流動性コンクリートについては、大阪・兵庫地区ではまだ調合が確定していないことをはじめとして、圧送性についても本 WG でも実験例はありますが不明事項も多い状況です。過去に行った同様のフレッシュ性状である高強度コンクリートの実験例では、圧送後に流動性や粘性が低下する、空気量が増加する、圧縮強度が小さくなるなどの事項が確認されていますが、その対策を講じるまでには至っていません。

そこで、第14回 Field 実験では、各生コン工場が新しく規格化されたコンクリートを本格的に出荷できる体制になる前に、高流動性コンクリートの圧送性を確認することを目的とした実験を行うこととなりました。

そして本年度も第16回圧送技術研究会を2020年2月17日(月)「大阪工業大学 梅田キャンパス」にて開催いたします。今回は第14回 Field 実験(2019)での「高流動性コンクリートの圧送性評価」を中心として、これまでの経緯と併せて報告を行います。

より広範囲な皆様の関心の中で、より良いコンクリート構造物をめざしている関係者各位に参加を呼びかけるものです。品質・技術に熱意ある貴職におかれましては、是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

開催日時 : 2020年2月17日(月) 13:00~17:00

開催場所 : 大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー 3階 常翔ホール
〒530-0013 大阪市北区茶屋町1番45号

参加費 : 3千円 ※研究会資料込み

以上

・お問い合わせは、近畿生コンクリート圧送協同組合 TEL：06-4393-8868、又は E-mail：
pump-wg@kinatsukyou.com までご連絡ください。

・会場準備の都合上、ご出欠の有無を、2月12日（水）までに FAX 又は E-mail にてご連絡下さい。

・尚、参加費は研究会資料込みで3千円です。参加費は当日受付でお支払い下さい。

（領収書はその際発行致します。）

・また、研究会直後に O I T 梅田タワー 21階 「リストランテ翔21」にて懇親会を開催致します。研究発表に対するご意見やご質問の他、各方面の方々との交流をはかって頂く場と考えております。継続的な研究の場を作っていく上でも、是非懇親会へのご参加をお願い申し上げます。（懇親会参加費は無料です。）

近畿生コンクリート圧送協同組合 宛

FAX 06-4393-8895

E-mail：pump-wg@kinatsukyou.com

第16回圧送技術研究会「高流動性コンクリートの圧送性評価」			
ご出席	お名前（	ご所属（	役職（
	（	（	（
	（	（	（
	（	（	（
	（	（	（
ご欠席			
貴社（団体）名			
電話番号		FAX番号	

同「懇親会」			
ご出席	お名前（	ご所属（	役職（
	（	（	（
	（	（	（
	（	（	（
	（	（	（
ご欠席			
貴社（団体）名			
電話番号		FAX番号	